

令和8年度 博多区人権を考えるつどい

— 映 画 上 映 会 —

参加
無料

令和8年 9月16日 (水)



©「ぼけますから、よろしくお願いします。」製作・配給委員会

時 間

開場13:00 開演 14:00～（上映時間 102分）

会 場

福岡市立博多市民センター 2階ホール
（福岡市博多区山王1丁目13-10）

定 員

500名（先着順・申込不要） ※日本語字幕付き

お問い合わせ

博多区役所生涯学習推進課

TEL:092-419-1025 FAX:092-419-1029

カメラを向けて初めて気づいた。
両親がお互いを思い合っているということ。

母、87歳、認知症。

父、95歳、初めての家事。

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」（監督・信友直子）は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。

結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。

母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファインダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた。病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。

仕事を捨て実家に帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。

「（介護は）わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。

そして「私」は両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め…。



大反響のテレビドキュメンタリーを映画化。

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。

2016年9月にフジテレビ／関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。

©「ばけますから、よろしくお願いします。」製作・配給委員会

交通アクセス

※2026年3月1日より、駐車場が有料となりました。
※駐車場の混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

●西鉄バス：「山王公園前」「山王1丁目」下車 徒歩約3分

【博多バスターミナル1階13番乗り場から】【博多駅筑紫口バス停から】
「L（ららぽーと福岡）」「17」「40」「40L」「44」「45」に乗車

●JR：「博多駅」下車後、「博多バスターミナル」「博多駅筑紫口」からバスをご利用ください。

●市営地下鉄：「東比恵駅」下車 徒歩約15分



主催

博多区人権尊重連絡会議・博多区生涯学習推進課

福岡市立博多市民センター（指定管理者：NEXT博多市民センター共同企業体）

Uni-Voice（ユニボイス）

日本視覚障がい情報普及支援協会が開発した音声コードです。専用アプリで読み取ると、記録されている情報を音声で聞くことができます。

